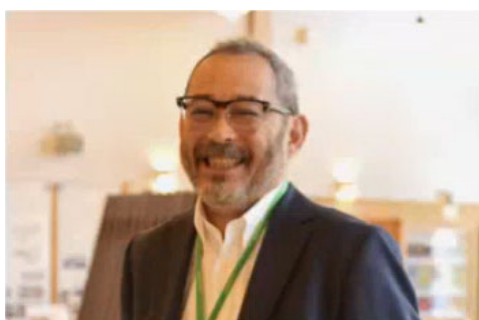


令和7年度林木育種成果発表会を開催しました

令和8年3月5日(木)、令和7年度林木育種成果発表会を開催しましたので、その概要を御紹介します。

今年度もオンラインでの開催とし、国、都道府県、民間企業や団体等から、163件の申込みがありました。

発表会は、秋田県立大学 木材高度加工研究所の高田克彦教授による特別講演、長野県林業総合センターの小山泰弘育林部長による特別報告をいただき、続いて、林木育種センター、森林バイオ研究センター、育種場の研究者から以下の発表を行いました。



秋田県立大学 木材高度加工研究所
高田克彦 教授



「林木改良：Tree Improvement」を考える」



長野県林業総合センター
小山泰弘 育林部長



「地域で生きる林木育種の成果
～遺伝子解析が地域を救う～」

- 令和7年度の品種開発
育種部 育種第一課 育種調査役 大平 峰子
- スギ特定母樹からの少花粉品種の開発の取組
育種部 育種第二課 主任研究員 松下 通也
- 滅失の危機に瀕する滑^{なめら}マツの遺伝子を未来へ遺す
-滑山国有林由来の抵抗性アカマツ品種開発-
関西育種場 育種課 主任研究員 高島 有哉
- 九州育種基本区のスギエリートツリー等についての特性情報の公表について
九州育種場 育種課 課長 千吉良 治
- 小笠原諸島の希少樹種保全の取組
-種子の長期保存に向けた乾燥耐性試験について-
遺伝資源部 保存評価課 特性評価研究室 主任研究員 玉城 聡
- スギの木質改変に向けた異所的な木部細胞誘導系の確立と木部形成関連遺伝子の探索
森林バイオ研究センター 森林バイオ研究室 主任研究員 佐藤 良介

特別講演の高田教授からは、林木の遺伝的な改良のみならず、種苗生産、栽培管理、育成技術を通じた社会実装による森林を取り巻く環境を改善する構想をお示し頂きました。

特別報告の小山育林部長からは、長野県内における懸案事項（地域の保全、牧場跡地）を解決する手段として林木育種を活かした取組を紹介いただきました。

また、当センター研究者の発表概要は次のとおりです。

大平育種調査役から、令和7年度の品種開発について説明し、今年度は花粉症対策品種等30品種を開発し、第5期中長期計画期間中（令和3～7年度）に開発した品種の合計が161品種となったことについて発表を行いました。

松下主任研究員から、育種の次世代化を計画的に行い、特定母樹に指定されたエリートツリーからスギ少花粉品種を開発し、これらのみからなる採種園構成を可能としたことについて発表を行いました。

高島主任研究員から、山口県に残る高齢級の「滑マツ」群落からマツノザイセンチュウ抵抗性品種を開発した取組について発表を行いました。

千吉良育種課長から、これまでの調査によって得られた九州育種基本区の特定母樹やエリートツリーの特性情報に基づいた普及の取組について発表を行いました。

玉城主任研究員から、小笠原諸島の希少樹種保全のため、小笠原諸島に自生する60種の樹木種子について、冷凍保存の前提となる乾燥耐性試験結果の発表を行いました。

佐藤主任研究員から、スギの木質改変に向けた異所的な木部細胞誘導系の確立に成功し、木部細胞および二次壁形成時に発現する遺伝子群を網羅的に特定できたことについて発表を行いました。

気候変動対策、花粉症発生源対策などについて、林木育種に対する社会的ニーズが益々高まってきています。今後も更なる広報活動に努め、より多くの皆様に当センターの研究成果をお届けできるよう取り組んでまいります。

(育種企画課)

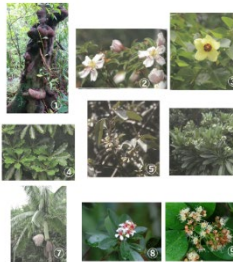
第5期中長期で開発した品種					
品種の種別	スギ	カラマツ	クロマツ	アカマツ	リュウキュウマツ
花粉症対策品種等	31				
少花粉品種	14				
無花粉品種	16				
無花粉遺伝子を有する品種	1				
気候変動適応性に優れた品種（耐乾性）	4				
初期成長に優れた品種	15	2			
マツノザイセンチュウ抵抗性品種			67	37	5
合計161品種					

令和8年3月5日 令和7年度林木育種成果発表会

大平育種調査役「令和7年度の品種開発」

判定結果
特徴的な種を中心に紹介

- **乾燥耐性（発芽あり）：39種**
 - ① シマホルトノキ（ホルトノキ科）
 - ② ハハシマノボタン（ノボタン科）
 - ③ テリハハマボウ（アオイ科）
- **乾燥耐性（休眠）：18種**
 - ④ シロトベラ（トベラ科）
 - ⑤ オガサワラグミ（グミ科）
 - ⑥ ヤロード（キョウチクトウ科）
- **死亡：3種**
 - ⑦ ノヤシ（ヤシ科）
 - ⑧ シャリンバイ（バラ科）
 - ⑨ ヒメフトモモ（フトモモ科）



令和8年3月5日 令和7年度林木育種成果発表会

玉城主任研究員

「小笠原諸島の希少樹種保全の取組」
- 種子の長期保存に向けた乾燥耐性試験について